



発行者
九州旅客鉄道労働組合
中央本部筑豊支部

発行責任者 川畑 哲実
編集責任者 熊本 純

直方市山部283-1
NTT(0949)28-2334
J R(091)8228

平成二八年春ダイヤ改正等にかかわる計画概要

筑豊本線等のワンマン列車編成両数の見直し提案される

不安安全要素が潜在した施策に対して断固反対

中央本部は11月17日、平成28年春ダイヤ改正等にかかわる計画概要について会社から提案を受け、その中で「筑豊本線等のワンマン列車編成両数の見直し」が計画されていることが明らかになった。

筑豊本線等のワンマン列車編成両数の見直し（博多直方間の4両ワンマン運転の実施）については、昨年度計画されていたものの、直方運輸分会が実施したホーム監視車上装置の不具合調査が功を奏し、これまで会社からの提案が見送られていた。

ホーム監視車上装置の不具合発生件数が大幅に減少？

中央本部が10月6日に行った申4号「ワンマン運転等に関する諸課題の要求申し入れ」の専門協議会において、会社は、ホーム監視車上装置の不具合について「一部箇所では電界強度が導入時に比べると低下していたため、電界強度を上げたところ不具合の発生件数が大幅に減少した」と説明、不具合の発生件数については「月36件↓月11件」としたうえで、不具合が発生した場合の連絡体制を整備し、乗務員、車両、工務で情報を共有する仕組みを構築したことから、迅速な対応が行えているとの認識を示している。

ホーム監視車上装置以外にも課題は山積！

会社は、ホーム監視車上装置の不具合が減少したことを最大の理由に、今次施策については実施できるとの判断に至った模様であるが、一方で、未だに不具合が発生している事実を認めている。また、直方運輸分会が今年度も

中央本部は、業務速報No.5 44で今次施策について「当該区間については、依然として安全の確保に必要な車上監視モニターに不具合が発生しているため、更なる安全体制の確立を求めることを11月16日の第7回中央執行委員会（臨時）において確認し、会社から『安全体制の確保のために引き続き対策を図っていく』との考えが示されたことから、提案を受けた上で、今後、具体的な改善課題等を協議していくこととした（原文）」との見解を示しているが、具体的な対策について何ら示されていないばかりか、中央本部から支部並びに直方運輸分会に対して十分な説明が行われていない。

直方運輸分会は、当面の取り組みについて意思統一

今次施策が会社から提案されたことを受けて、直方運輸分会は12月1日、支部事務所で行った委員会を開き、当面の取り組みとして、全組合員を対象としたアンケート調査を実施することを決定、現在組合員の率直な声を中央本部・支部へ伝えるべく、集約活動に取り組んでいるところである。

また、支部も12月7日に開いた第4回執行委員会、今次施策への対応について協議し、直方運輸分会との連携を強化したうえで、分会の意向を最大限尊重した取り組みを行うっていくことを確認した。

中央本部は、会社から安全体制の確保のために引き続き対策を図っていくとの考えが示されたことを理由に提案を受ける

筑篠鉄事駅連合分会が定期大会を開催

筑篠鉄事駅連合分会は、11月18日、支部事務所で開催、新年度の運動方針を決定するとともに新役員体制を確立した。（＝写真下＝）
なお、三役体制は以下のとおり。



役職名	氏名	職場
執行委員長	熊本 純	直方駅
執行副委員長	嶺 忠良	長者原駅
書記長	大五 章佳	新飯塚駅

第1回中央本部支部間交流ゴルフ大会 石田佳久さん（直方運輸分会）が準優勝



（＝写真上＝）
当日は、筑豊支部から3人の組合員が参加、季節外れの小春日和の中、ダブルペリア方式で競技が行われ、石田佳久さん（直方運輸分会）が準優勝の好成績を収めた。

第1回中央本部支部間交流ゴルフ大会が12月1日、J R内野カントリークラブで行われ、組合員や退職者連絡会の会員など70人が参加した。

筑豊支部2016年新春の集い

＜開催日時＞
2016年 1月 9日(土) 13時

＜開催場所＞
直方市労働会館
(旧労金直方支店3F)

皆さんの参加をお待ちしております